

新「扶桑町 我が家の子育て憲章」

扶桑町教育委員会

「全国学力学習状況調査」や「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から、心配される子供たちの姿がいくつか分かりました。「自分に自信がもてない」「将来の夢や目標が見つからない」「スマートフォンや携帯を使う時間が長い」「運動する機会が減っている」などです。

このことを受けて、ご家庭にも呼びかけた方がよいと思われる10項目を新「扶桑町 我が家の子育て憲章」として提案いたします。扶桑町のお子さんをお持ちの全ての方に、子育ての基本的な姿勢として参考にいただければ幸いです。

1 「愛のシャワー」で 心優しい子を育てます

子どもが「自分は大切にされているんだ、愛されているんだ」と心から思うことができるように、小さいうちから親の愛情をいっぱい降りそそぎましょう。「愛のシャワー」は子どもに自分を大切にする心を芽生えさせ、他人を思いやる優しい気持ちを育みます。

2 しつけは 親の責任で 愛情をもって進めます

「しつけ」は一人の人間として生きていくための生活習慣を身に付けさせることです。他人任せにせず、親の責任で、きちんとしつけていきましょう。できないことをしかってしつけるより、できたことを親子で喜び合うことがポイントです。

3 子育ては 地域の力をかりて 進めます

子どもは地域の人とのふれあいによって多くのことを学ぶことができます。親も親としてのあり方を学んだり、困ったときに相談できたりします。地域の行事などには親子で積極的に参加して、地域の人と知り合いになり、地域の力をどんどんかりましょう。

4 夢を語り合うなど 親子の対話を 大切にします

学校の様子や友達のこと、将来の夢などを子どもたちが気軽に話せる雰囲気作りが大切です。語り合うことで、子どもたちのSOSも発見できます。ノーテレビ・ノーゲームデーを定期的につくって、子どもとの対話を進めましょう。

5 爽やかな挨拶や 元気な返事ができ 靴を揃える子に育てます

挨拶や返事は人としての基本で、人の気持ちを和ませる不思議な力があります。はきものを揃えることも心を整えることにつながります。親が進んでお手本となり、だれとでも笑顔で挨拶を交わし合い、はきものをそっと揃えるステキな姿を示しましょう。

6 「早寝早起き 朝ご飯」の習慣をつけます

学習や運動などすべての活動の基盤は、睡眠時間と食事です。しっかりとした睡眠と体に脳に栄養を送る朝食は、一日の充実度を決めます。家族全員そろってバランスの良い朝食をとり、良い一日のスタートをきるができる習慣づくりをしましょう。

7 手伝いを 最後までできる子に育てます

家族の一員として家の仕事をする事は、子どもの自立心を高めます。出来栄を評価するのではなく、「お手伝いをしたい」という意欲を大いに誉めて、最後まで粘り強くとりくませましょう。最後に「ありがとう」の一言を忘れずに。

8 運動したり 自然に親しんだりする 機会を増やします

時には、子ども供たちと一緒に屋外で体を動かしたり、草花などの自然に触れたりしましょう。運動は体力増強、ストレス解消、健康増進に役立ちます。また自然に触れることで、豊かな心も育ちます。家族全員で青空の下で汗を流しましょう。

9 パソコン・スマートフォン・携帯電話の使い方の約束を決めます

ネットモラルは、現代社会に生きる子どもたちが、身に付けなければならない大切なことです。便利な機器は、その利便性だけでなく、危険性も親子で十分話し合った上で、約束を決めてから与えましょう。そして時々、その利用状況も確認しましょう。

10 家庭の 勉強する雰囲気 を 高めます

親がテレビを見ながら、「勉強しなさい。」と注意しても子どもはなかなか勉強しません。大切なのは、家庭の雰囲気作りです。親が本や新聞を読んだり、学習したりする姿勢をみせれば、子どもも自然に本を開きます。